

さいたま市立浦和博物館館報

あかんさす

VOL. 44-2
通号 第 111 号

ACANTHUS : BULLETIN OF SAITAMA MUNICIPAL URAWA MUSEUM

江戸時代の村絵図を読む(2)

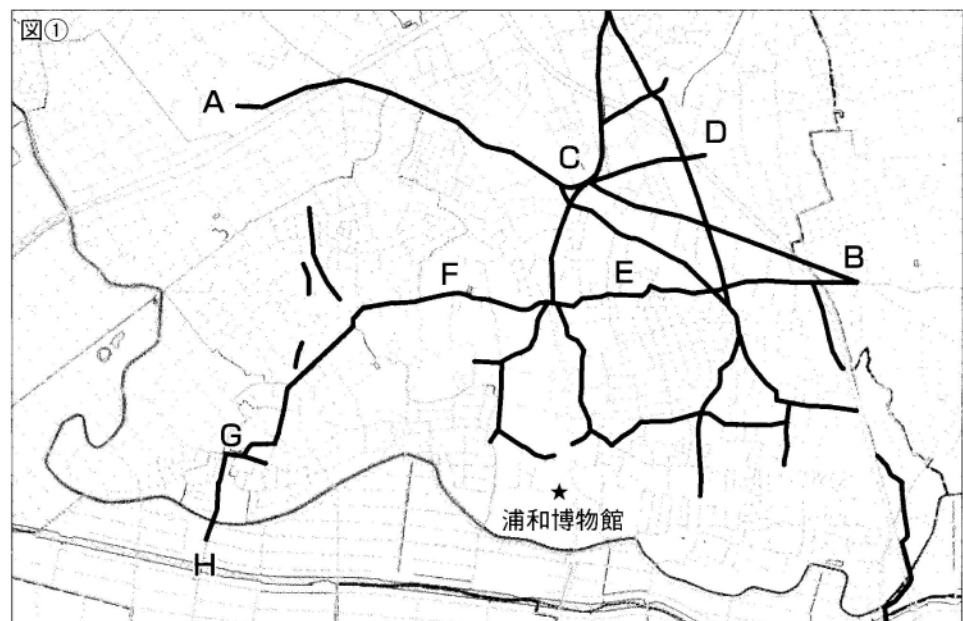
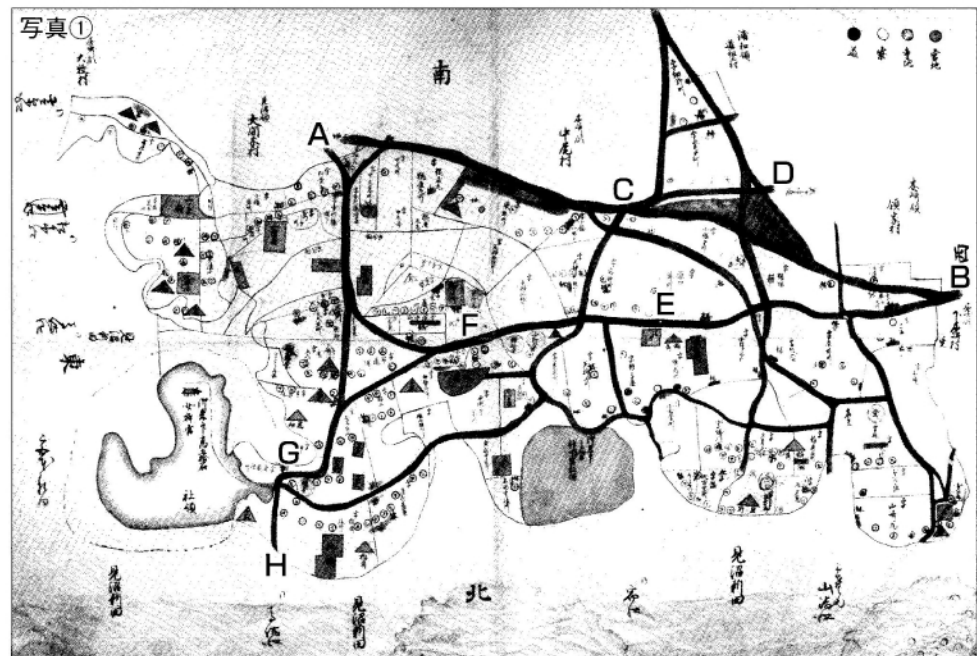
前号では、特別展「江戸時代の三室村をあるく～絵図から迫る村のすがた～」(平成27年10月24日～11月29日)で展示した資料の中から「三室村絵図」(写真①)を例に取り上げ、村絵図の定義や三室村の範囲、図の彩色、文字情報などを中心に考察しました。

写真①に描かれた道を現在の地図上で推定したものが、図①です。

図①を見ると、区画整理事業の進んだ三室地区東部に比べ、西部に古道が多く残されている様子がわかります。

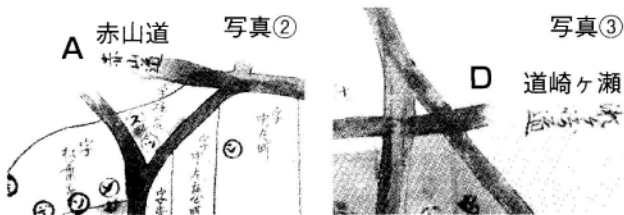
これらの道を取り巻く環境は江戸時代以来大きく変わっていますが、数百年にわたる歴史の息吹を感じさせる、地域にとって貴重な存在です。

今号では、絵図に描かれた道や隣接する村々、字名などについて触れ、最後にこの絵図の性格について考えます。



1 村内の道

絵図に道の名称記載があるのは「赤山道」(A~B間)と「瀬ヶ崎道」(C~D間)の2つです(写真②・③)。

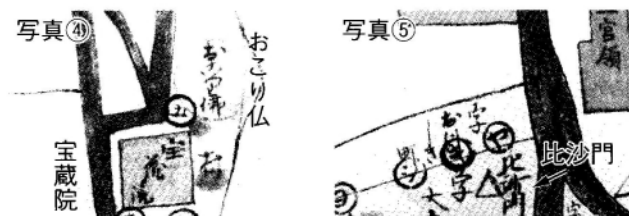


赤山道は、大間木村(現緑区大間木ほか)、八丁堤を経て関東郡代伊奈氏の陣屋がある赤山村(現川口市赤山)に至る道で、現在も三室地区内の全区間が残っています。また、瀬ヶ崎道は瀬ヶ崎村(現浦和区瀬ヶ崎)、領家村(現浦和区領家)などを経て、中山道に合流する道で、現在「北宿通り」の一部となり、三室地区と北浦和駅を結ぶ主要な道となっています。

また、Bから報恩寺門前(E)、薬王寺(現文殊寺)門前(F)、観音堂前(G)を通り、Hまで村のほぼ中央を東西に結ぶ道も全区間が残り、往時をしのぶことができます。

2 神社・寺院・お堂

絵図上では、神社として「女體宮」、「天神」、「諏訪社」、「大六天」、「白山」、「荒神」、「小室」、「鬼子宮」各1か所、「神明」、「熊野」各2か所、「稲荷」7か所、寺院および寮として「宝蔵院」、「おこり仏」(写真④)、「太子堂」、「法恩寺」、「地藏堂」、「薬王寺」、「東漸寺」、「薬師堂」、「地福院」、「観音堂」、「釈迦堂」、「不動堂」と名主抱の「堂」(観音堂)、他に白抜きの三角で「比沙門」(写真⑤)が確認できます。



ところで、三室村では元禄3年(1690)に検地が行われ、同年9月作成の『武蔵国足立郡三室村屋鋪御検地水帳(写)』(武笠家文書・埼玉県立文書館寄託・市指定有形文化財、以下『屋鋪検地帳』)に、検地対象外の土地として、当時存在した神社や寺院が記載されています。

絵図と『屋鋪検地帳』との相違をまとめたものが、表①です。

表① 神社・寺院記載比較表

三室村絵図	屋鋪検地帳
宝蔵院	真言宗 宝蔵院
稲荷	同寺抱 稲荷宮地
おこり仏	同寺抱 おこり仏堂地
法恩寺	天台宗 法恩寺
地福院	天台宗 地福寺
稲荷(1か所)	同寺抱 稲荷宮地2か所
東漸寺	天台宗 東漸寺
観音堂	同寺抱 観音堂地
薬王寺	天台宗 薬王寺
稲荷	同寺抱 稲荷宮地
天神(1か所)	村民抱 天神宮地2か所
諏訪	同 諏訪権現宮地
稲荷(5か所)	同 稲荷宮地5か所
大六天	同 第六天宮地
熊野(2か所)	同 熊野権現宮地2か所
荒神	同 荒神宮地
白山	同 白山権現宮地
小室	同 小室明神宮地
鬼子宮	同 鬼子ノ宮地
堂	同 観音堂地
比沙門	同 毘沙門堂地
太子堂	同 太子堂地
釈迦堂	同 釈迦堂地
不動堂	同 不動堂地
地藏堂	同 地藏堂地
薬師堂	(記載なし)
神明	(記載なし)

※朱印地は検地対象外のため、氷川女體神社及び神明社(伊勢山神明社)は『屋鋪検地帳』には記載されていない。また、現地福院は「地福寺」、現報恩寺は「法恩寺」と記載されている。

『屋鋪検地帳』で「地福寺抱」とされる稲荷社は絵図にはありませんが、隣接地に「神明」の記載が見られます。また、絵図では天神社は1か所しか描かれていません。

薬師堂は、絵図で村のほぼ中央部、薬王寺の西側に記載されていますが、『屋鋪検地帳』には記載がないことから、元禄3年以後に建立されたものと考えられます。

なお、薬王寺は明治初期にそれまで氷川女體神社内にあった文殊寺とあわせられ、文殊寺として現在に至っています。



3 隣接村

絵図には、三室村の外縁に墨書で境界を接する村の名前と見沼新田における三室村5組の新田位置と名称が描かれています。

- 南 「木崎領大牧村」、「見沼領大間木村」、
「木崎領中尾村」、「浦和領道祖土村」
- 西 「木崎領領家村」、「木崎領下木崎村」
- 北 「三室村之内山崎組」、「同宿組」、
「同馬場組」
- 東 「宮本新田」、「同馬場組」、「同松木組」、
「同芝原組」

享保10年代(1725~34)に開発された三室村5組の新田は、ほぼ各組の地区に隣接していました。また、宮本新田は享和元年(1801)の古文書にその名が初めて見られます。

なお、「木崎領」などの「領」は、戦国時代から江戸時代にかけて主に北関東に見られる地域名です。郡より範囲は小さく、その中の複数の村々から構成されていましたが、行政上の役割などはよくわかっていません。ちなみに三室村は、木崎領に属していました。

4 字名と屋号の記号について

絵図には、68の字名が墨書で、189軒の本百姓の家が、○に漢字またはカタカナ1文字の記号で描かれています。

絵図と『武蔵国足立郡三室村畑方検地水帳』(元禄3年・武笠家文書・埼玉県立文書館寄託・市指定有形文化財、以下『畑方検地帳』)ほかに記載されている字名を対比したのが表②です。『畑方検地帳』に記載の無い字名8か所は、元禄3年以降の成立と推察されます。

本百姓の家を示す丸囲みの記号は、本図の最も特徴的な部分です。漢字・カタカナは、各家の通称である屋号を1文字で表していると思われ、三室村の村民であれば一目で百姓家を識別できるものだったと考えられます。

丸囲み記号には、墨で塗りつぶされたものが数軒ありますが(写真⑥)、これらは何らかの事情で絵図作成後に断絶した家と見え、本図が一過性のものでなく、継続的に利用、修正されていた痕跡がうかがえます。



表② 字名対照表

番号	三室村絵図	畑方検地帳
1	鬼神宮町	きしのミヤ、鬼子の宮町
2	前芝原町	前芝原
3	後山	後山
4	原町	
5	小福前町	御福前
6	おつしき町	おつしき前
7	歩行橋堤下	歩行橋堤下芝原
8	松葉臺	松葉臺
9	堀尻	堀尻町
10	歩行橋堤上	歩行橋堤上芝原分
11	中丸臺町	中ノ丸臺町、中丸臺町
12	中ノ丸町	
13	中丸崎	中丸先
14	糶屋丸町	加う志や丸町
15	糶屋丸	
16	糶屋丸先	加うしや丸崎
17	東前町	東前町
18	天神西根から	天神前西根から町
19	臺下曲戸	臺之下まか里戸町
20	金山道下	金山道下町
21	金山臺町	金山臺
22	小室東	小室東
23	原中町	
24	外輪戸町	外わと町
25	天神前根から	天神前根から町
26	小福北町	小福北町
27	宿中町	宿中町
28	小福堂町	小福堂町
29	登戸町	登り戸町
30	細野町	細野町
31	原口前町	原口前
32	谷ツ出口	
33	櫻塚	櫻塚町
34	大道	牛加窪大道南町
35	牛ヶ久保	牛ヶ窪、牛ヶ久保
36	立石	立石町
37	木境	木崎境
38	原前町	原前中町
39	八ツ出口	八ツ出口道西
40	赤目ヶ谷戸	赤目ヶ谷戸
41	堀ノ内町	堀の内町
42	小古里町	
43	堀川	堀川臺
44	太子下町	太子ノ下
45	大古里町	大ふつさと、大古里町
46	久曾久保	くぞ久保
47	丸戸臺	丸戸臺
48	稻荷西町	
49	大久祢町	大具根町
50	お古里佛	おこり佛町、おこり佛
51	山崎丸	山崎丸
52	杉之臺	杉の臺町
53	天神西町	天神西町
54	米原町	米の原町
55	東漸寺前町	
56	東漸寺後町	東漸寺後
57	猫山根から	祢こ山根から町
58	伊勢山崎	伊勢山崎
59	小室山前	小室山前
60	早道場	はや道場
61	猫山	祢こ山、祢こ山町
62	遊馬臺町	あすま臺町
63	清水臺東	清水臺之東
64	稻荷後町	稻荷後町
65	常泉坊町	常泉坊大町
66	柳町	柳町
67	大六天町	大六天町
68	とうみ前	登うみ前町



5 「三室村絵図」の性格について

これまで見てきたことをもとにして、本図が描かれた時期を推定すると、手がかかりとなる「宮本新田」と「薬王寺」の記載より、江戸時代後期から明治初期頃の間と思われます。

また、本図の作成目的を描かれた内容から探してみると、①三室村全体を描いている、②村内全ての本百姓の家が位置とともに記号で示され、修正もされている、③村の字名が網羅されている、④神社・寺院の位置と、朱印地の場所が明示されている、⑤散在する林の位置が描かれている、⑥「名主」宅のみ記号でなく墨書で、また隣接する名主抱の寮（観音堂）のみ「堂」という省略記載がされている、といった特徴が見られます。

これらのことから、本図は三室村における百姓耕作地以外の土地の利用状況を概観するため、及び村の構成員である本百姓の家の所在や増減を把握するため、名主宅に常備したもので、三室村の村役人等が必要に応じて閲覧する性格の絵図として、作成されたものではないかと考えられます。

※本稿執筆にあたり、特別展に先駆けて実施された、さいたま市緑区歴史の会による調査成果(『緑の歴史』第11号に調査報告所収)を参考にさせていただきました。

(学芸員 雨宮正人)

【参考図書】

- さいたま市緑区歴史の会編『緑の歴史』第11号
平成28年
- 重田正夫・白井哲哉『新編武蔵風土記稿を読む』
さきたま出版会 平成27年
- さいたま市立博物館編『絵図の世界～描かれた背景をさぐる～』
平成24年
- 金田章裕・上杉和史『日本地図学史』
吉川弘文館 平成24年
- 杉本史子ほか編『絵図学入門』
東京大学出版会 平成23年
- 埼玉県立文書館編『古絵図を楽しむ』
埼玉新聞社 平成20年

日誌抄

- H27 10/24(土)～11/29(日) 特別展「江戸時代の三室村をあるく」
10/24(土) ギャラリートーク
10/29(木) 原山小学校(3年生)体験学習
11/3(火) ギャラリートーク
11/6(金) 常盤小学校(3年生)体験学習
11/14(土) 特別展現地見学会「絵図に描かれた村を歩く」・埼玉大学3年次見学実習
11/15(日) ギャラリートーク
11/22(日) 特別展関連講座「絵図よもやま話」(三室公民館)
12/1(火)～3(木) 中学生職場体験(本太中学校)
12/19(土)～H28 5/5(木) 企画展「ちょっと昔のくらしの道具展」
- H28 1/9(土)～11(月) 昔のあそび
1/11(月) おもちゃづくり
1/20(水)～22(金) 中学生職場体験(木崎中学校・美園中学校)
1/28(木) 川口市立神根東小学校(3年生)体験学習
2/2(火)～5/5(木) 昔の道具さがし
2/16(火)～17(水) 中学生職場体験(埼玉大学附属中学校)
2/17(水) 川口市立戸塚東小学校(3年生)体験学習
2/19(金) 浦和ルーテル学院小学校(3年生)体験学習
2/24(水)～26(金) 中学生職場体験(浦和中学校)
3/19(土)～21(月) 昔のあそび
3/25(金)～4/3(日) 昔のあそび

さいたま市立浦和博物館報 **あかんさす** No.111

編集・発行 さいたま市立浦和博物館
〒336-0911 さいたま市緑区三室2458番地
TEL・FAX 048-874-3960

発行日 平成28年3月25日
ホームページ <http://www.city.saitama.jp/004/005/005/004/002/index.html>

E-mail urawa-museum@city.saitama.lg.jp

この館報は2,000部作成し、一部当たりの印刷経費は25円です。

